学校番号	４１５

令和５年度 国語科

教科	国語科	科目	古典Ｂ	単位数	２	年次	３
使用教科書	精選古典Ｂ　改訂版（大修館書店）						
副教材等	最新国語便覧（浜島書店）新精選古典文法改訂版（東京書籍） 読んで見て覚える重要古典単語 315 三訂版(桐原書店)						

１ 担当者からのメッセージ

・古人の感じ方や考え方に触れ、理解を深めていくなかで、人間の行動のパターンや心のありようなどを知り、ものの見方を豊かにすることを心がけましょう。
・様々な文章に触れ、「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や、意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付けてください。
・有名な古文と漢文の作品に親しむとともに、正しく心情等を理解するために必要な語彙力や文法の知識をしっかりと身に付けてください。
・本文を読んでしっかり予習をしておきましょう。授業の後には内容を振り返って復習してください。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

２ 学習の到達目標

・古典を読む能力を養うとともに、様々なものの見方、感じ方、考え方を知り、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a：関心・意欲・態度	b：話す・聞く能力	c：書く能力	d：読む能力	e：知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。			文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察記述の点検 （ノート、ワークシート等）			記述の確認及び分析（ワークシート、ノート）定期考査	行動の観察記述の確認 （ノート、ワークシート等）定期考査小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。

学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	説話	教材: 『古今著聞集』 「源義家、衣川にて安倍貞任と連歌のこと」	○			◎	○	a: 説話に興味をもって学習に取り組んでいる。 d：登場人物の行動や心情、人物相互の掛け合いを読み味わっている。また、作者が登場人物を通して伝えたかった主題を把握している。 e：基本的な助動詞や助詞の意味・用法、係り結び、和歌の修辞などについて理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e:記述の確認及び定期考査
	思想	教材: 『思想――儒家』 孔子と門人たち	○			◎	○	a：「論語」や孔子について興味を持ち、理解を深めようとしている。 d：孔子の門人評や孔子と門人の対話、門人同士の対話などを読み取り、孔子や門人たちの考え方や人柄をとらえている。 e：返り点や助字等の扱いに注意して、正しく書き下し、現代語訳できる。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e:記述の確認及び定期考査
	日記	教材: 『蜻蛉日記』 「町の小路の女」	○			◎	○	a：教材に興味をもって学習に取り組み、特色である自照性や歴史的背景について理解を深めようとしている。 d：本文の構成を把握し、内容や話の展開を理解している。和歌から詠み手の心情を正確に読み取っている。 e：重要な語句や文法、当時の結婚形態、和歌の修辞方法について知識を深めている。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e:記述の確認及び定期考査
	史伝	教材: 『史記』本紀 「功王の最期」 (一)四面楚歌す	○			◎	○	a：劇的に展開する漢・楚の興亡の歴史的事実を、『史記』の文章によって興味深く学習し、理解を深めようとしている。 d：話の展開を理解するとともに、登場人物の心情を読み取っている。 e：返り点・送り仮名に従って正確に訓読することができ、基本的な句法・語法を理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e:記述の確認及び定期考査
2学期	物語	教材: 『源氏物語』 「若紫」	○			◎	○	a：『源氏物語』と紫式部について関心をもち、理解を深めようとしている。 d： 登場人物の動きと、話の概要を理解している。また、登場人物のそれぞれの動きと、話の概要を理解している。 e：敬語の意味と用法、重要語句について理解を深めている。『源氏物語』の内容について、概略を把握している。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e:記述の確認及び定期考査

	随筆	教材: 『枕草子』 「中納言参りたまひて」	○			◎	○	ａ：『枕草子』や清少納言、また随筆文学について関心をもち、理解を深めようとしている。 ｄ：登場人物と出来事を把握している。作者の言動に対する周囲の人々の評価を読み取っている。 ｅ：重要古語や古典文法、敬語の意味・用法、『枕草子』の作者について理解を深めている。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e: 記述の確認及び定期考査
	物語	教材: 『大鏡』 「三舟の才」	○			◎	○	ａ：登場人物の境遇を読み取るとともに、歴史物語の特徴を理解しようとしている。 ｄ：登場人物の人間関係や心情を読み取っている。 ｅ：形のうえで紛らわしい語を文法的に識別できている。基本的な敬語法について理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e: 記述の確認及び定期考査
	小説	教材: 『人虎伝』 （一）才を恃みて倨傲なり	○			◎	○	ａ：主人公が置かれた境遇に思いを致し、人生について省察する契機としている。また、中島敦の『山月記』との比較を通じて、中国古典小説に対する興味・関心を深めている。 ｄ：各場面における発話描写を分析し、登場人物の心理や心情を読み取っている。 ｅ：再読文字や疑問・反語の用法を中心に、これまでに学習した句法について確認・整理している。	a:行動の観察及び記述の点検 d,e: 記述の確認と分析及び定期考査
3学期	評論	教材: 『古今和歌集 仮名序』 「やまと歌」	○			◎	○	ａ：教材に興味を持って学習に取り組み、和歌について関心を持って、理解を深めようとしている。 ｄ：筆者が主張する和歌の本質と効用を的確に読み取っている。 ｅ：和歌や歌論の文学史的事項を理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d,e: 記述の確認と分析及び定期考査

※ 表中の観点について　ａ：関心・意欲・態度　ｂ：話す・聞く能力　ｃ：書く能力　ｄ：読む能力
ｅ：知識・理解

※ 評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて〇印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。